



筑紫支部

私の見た国・北朝鮮

月日が立つのは早いもので、私が中国とのビジネスに取り組んで九年目になりました。私が生まれた国、中国。当初知人の勧めで半信半疑で大陸に渡り、ビジネスを続けてきました。当時は天安門事件から二年目で、厳しい規制の中、ほとんど失敗に近い経験の連続でした。途中、幾度も事業継続を断念しようかとも思いましたが、ここで手を引けば何もかもゼロになる。周りから「やはり失敗したか」とも思われたくなかったし、私にも大塚中、大塚高、福大と大塚魂がありましたから、男の意地で今日まで頑張り続けてきました。当時のことは、後日あらためて紹介することにして、今回は私がこのビジネスの一環として昨年十月、中国のスタッフと一緒に北朝鮮を訪れたときの体験を書くことにします。

一九九九年十月二十一日から二十三日まで、中国北方の吉林省延吉から車で三時間かけて国境の珲春(ぐんしゅん)まで行き、そこから野や山を越えて目的地の羅津(らじゅん)までまた三時間。当地の水産物工場を視察し、ビジネスとして取り組むことができるか、できないかを確認するのが、今回の入国の目的でした。もちろんビザをもらったのは、中国政府からです！そして北朝鮮入国の印象は、私たちが日頃ニュースなどで見たそのままの姿でした。

疑うことばかりでした。当地は十月でもかなり寒い季節なのに素足の子供たちも多く、町には店もたった一軒。しかし買い物をする人はわずかに数人でした。交通機関といっても、バス、タクシーは無く、自転車は僅か。徒歩が人々の唯一の交通手段と言えるでしょう。とにかく想像を越えた体験になりました。

私たちは入国の際に、車一台にたくさん食料を持ち込んでいました。食料事情が悪いことは事前にはわかっていたので、中国からあらかじめ携えて行ったのです。検問の際に多少、係員に分けてあげると言われ、私が日本人だということ親切にしてくれました。

ある朝、ホテルでスタッフが食事をしている時のことです。私はホテルの玄関で周回を見ていると、いつの間にか十人か十二人ぐらいの子供たちが集まってきて、私に何か話しかけてきました。通訳を介して尋ねてみると、手を差し出したので、食べ物が見たいのだと直感しました。私は自動車の荷台に行き、積んでいた食料を指さすと頭を下げたので、私はスタッフの食料を全部、配ろうとしました。すると、そこへ中国人のスタッフがやってきて、少し怒ったような表情で私に何か言ったので、ついその時、自然に博多弁が出て、「いつでもみんなは中国に帰れば食べることができるじゃないか。」と叱り、配り続けました。すると中国人のスタッフも私の言ったことが理解できたのでしよう、そのまま黙って私を手伝ってくれました。食料をもらって帰る時、私に頭を下げる子供。手を振る子供。

私自身も気持ちが悪ければとした思いでした。

今でもあの時のことを振り返って思うことは、この平和な日本では考えられないこんな国が現実にあるということに皆さんに知ってもらいたい、ということですね。

(筑紫支部長 第八回卒 神田那雄)



つつじ会

平成十一年九月十一日(土)、大塚つつじ会の総会が、久留米グリーンホテルにおいて開催されました。母校からは、近藤校長先生はじめ多数の先生方が参加されました。今は、学校を退職されている恩師の浅田先生も駆けつけて下さいました。同窓会からは、安藤会長はじめ副会長が参加しました。大塚つつじ会は、今年が結成十周年の記念すべき総会でした。総会では、平成十一年度の活動報告、決算報告及び、監査報告や平成十一年度の予算案、活動計画案が審議されました。その後、恒例になっているジャンケンゲームで、会場は盛り上がりしました。

大塚つつじ会は、久留米市、小都市、佐賀県三養基郡在住の会員を中心として結成されています。近くにお住まいの会員のみならず、大塚つつじ会に、是非ご参加下さい。(つつじ会 第九回卒 竹岡宗磨)



福大医学部支部

我々の支部も福大のなかでは数少ない大塚同窓会になってしまいました。しかし、学部の特長性のためか、何とか存続しています。担当学年が、しつかりしてくるので、大体に、コンスタントに会合は有っています。現在では百人近い同窓生が居る集団になり、仲間から、国立大学医学部の教授を輩出しました。去年初めての福大卒の内科教授も誕生しました。これに続く人材の中には校出身者が出てくることを夢見ています。しかし、市内のどこぞやの高校グループの様に大学生になってからも、高校生気分から脱皮出来ずに、そのノスタルジアに酔い易い風が、昔から有る様に思うのです。旧制高等学校卒の人達のあの盛り上がりを見ていると、日本の歴史の流れで考えると、近代化を動かすためには、効果的な、歴史的に必要なあった雰囲気だったのかも



第10回 大塚つつじ会総会
つつじ会総会 平成11年9月11日